

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第26回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 菊間一宏（日大）

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について議論をします。本研究会では、企業・大学における研究・教育上の課題のみならず、製品開発や保守運用上の課題など、研究から実用化までを通した幅広い課題を対象として解決法を探ります。

期日 2021年10月21日（木）、22日（金）

会場 名古屋国際センタービル 第一研修室・第二研修室（名古屋市）

※現地・オンライン同時開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本研究会はオンライン開催のみとなる可能性があります。

募集案内：<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/26/announce/>

テーマ：ロボティクスへの応用を見据えたネットワークソフトウェア技術＋一般

概要

5Gによって大容量・低遅延・多接続の通信が普及すると、従来は実現が困難だった緻密な遠隔制御が可能になる。複数のロボットをネットワークにつないで協調動作させることによって、より高度なサービスを提供することが期待できる。また、COVID-19のリスク回避や労働人口減少を補う手段として、ロボットをネットワーク経由で制御するニーズは今後ますます高まることが予想されている。本研究会では、将来のロボティクスを支えるネットワークソフトウェア技術について、幅広く課題や研究アプローチに関する発表を募り、議論を行います。

【本研究会の特徴】

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起などについても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件あたり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件あたり標準で20分。発表者からのプレゼンテーションは5～10分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てます。一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

【各種締切】

一般講演申込み：9月17日（金）

ポジションペーパー講演申込み：9月17日（金）

研究会参加申込み：10月8日（金）

原稿提出：10月8日（金）

参加費振込み：10月13日（水）

【参加費（予定）】

一般：¥7,000、学生：¥3,000

【講演・参加申込方法・原稿提出方法】 下記ウェブページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/26/announce/>

【講演・参加申込先・原稿提出先】

風戸雄太（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL [0422] 59-6754

E-mail : ns-nws-secretariat@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

谷田康司 (NTT)

TEL [0422] 59-4883

主催 ネットワークソフトウェア研究会運営委員会

<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/>

●第76回機能集積情報システム研究会

委員長 市原英行 (広島市大)

副委員長 難波一輝 (千葉大)

本研究会は、電子情報通信学会・ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会のもとでの研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能を、シリコン・ウェーハやVLSI, 3D IC (three-dimensional integrated circuit) 上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。本研究会では、次に示す FIIS 構築に関する幅広い研究分野を対象としています。

- ・情報システム設計に関する技術：誤り訂正・回復技術, SoC (System-on-chip) や NoC (Network-on-Chip) などの耐故障・再構成可能システムの構築技術, 低消費電力技術, 機械学習を用いた情報システム設計法, 近似・確率計算を用いたシステム設計法
- ・LSI製造に関する技術：LSI故障・欠陥検出法 (テスト手法, テスト容易化設計法), チップの歩留まり解析, 歩留まり向上設計法, レイアウト設計・解析手法, 故障モデルの解析, 信頼度解析, 性能評価などの理論的解析手法

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼・低消費電力な機能集積情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第76回機能集積情報システム研究会では下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

期日 2021年10月22日 (金) 13:00~ (開始時間は予定)

会場 広島市大/オンライン (ハイブリッド型・予定)

※詳細は <https://www.ieice.org/~fiis/cfp.html>

一般申込締切：8月10日 (火)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先、発表予定者を下記幹事までお知らせ下さい。折り返し御発表の可否について御連絡致します。

【申込・問合せ先】

三浦康之 (湘南工科大)

E-mail : miu@info.shonan-it.ac.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会